



ひよどりっ子

第55号
R4.2.9

北区青少年育成協議会ひよどり台支部
発行責任者：支部長 石井 静恵

編集・印刷：株式会社 北 欧

【入門】ひよどり台児童館 ～児童館へいらっしゃい！～

神戸市立ひよどり台児童館 田中 重明

時々、おとなりのひよどり台会館と間違えて入っていらっしゃる方がいます。確かにわかりにくいですよ。児童館がどんなところか、何をやっているのかもわかりにくいですか？そこで、この紙面をお借りしてひよどり台児童館を紹介させていただくことにします！

1. 児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象として遊びや生活の援助、子育て支援を行い、子どもの健全な成長を支えます。子どもだけでなく子どもに関わるすべての大人も利用できます。たとえば、

(ア) 午前中には乳幼児とお母さんが「なかよしひろば」や「すこやかクラブ」で活動しています。

(イ) 子どもに読み聞かせ（アリスの会）や遊びを提供（神戸YJB）してくださる方々があります。

(ウ) 行事に参加してくださる地域の皆さんが、たくさんいます。

(エ) 児童館の活動を手伝ってくださるボランティアがいます。すこやかクラブのお手伝い、夏休みに小学生の宿題のお手伝いなどです。



2. ひよどり台児童館では、自由来館だけでなく学童保育（放課後児童クラブ）もやっています。

(ア) 自由来館とは、子どもが一人で、あるいは親子など大人と子どもが、自由に利用できることを言います。開館日の開館時間帯の好きな時間にやってきて遊べますので、どうぞふらっと遊びに来てください。

(イ) 学童保育は、お仕事などで家庭に子どもを見守れる大人がいない場合に、お子さんをお預かりすることです。対象は小学1～6年生までです。最長19時

までお預かりします。

学童保育の子どもたちがたくさん利用するので児童館＝学童保育施設と思われがちですが、学童保育以外の利用も大歓迎です。

実は、児童館と学童保育施設は別というところも少なくありません。神戸市でも多くの小学校内に学童保育コーナーが設置されています。



厚生労働省の統計（2017年度）によると、学校の余裕教室が約29%、学校敷地内の専用施設が約25%と小学校内の合計が約54%に対して、児童館・児童センターは約11%です。

3. 最後に、ひよどり台児童館を100倍楽しむ方法をお教えます。

(ア) 児童館の行事は、基本無料です。おまけに賞品がもらえるような行事もあります。耳より情報をゲットするには「児童館だより」が一番。小学校や地域の掲示板に掲示されているだけでなく当館のHPやふれあいのまちづくり協議会のHPにもアップされます。もちろん当館に置いています。

(イ) 実際の様子がわからないと少し不安とお考えのお父さんお母さんは、どうぞ親子で見学に来てください。児童館でボランティア活動してみたいという地域の皆さんは、遠慮なくご相談ください。

(ウ) 当館ではTwitterをやっています。一般公開はしていませんが、ご覧になりたい方はフォローリクエストしてください。児童館の様子を知ることができます。

ひよどり台児童館は、地域に開かれています。皆様のご利用をお待ちしています。

ふれあい 春の子どもまつり



日時 3月30日（水）
午後から

場所 ひよどり台中央公園

中学生が準備したゲームコーナー、吹奏楽演奏などがあります。たくさんお友だちをさそって遊びに来てくださいね。

※ただし、新型コロナウイルス感染拡大に伴って中止になる可能性もございます。

ええとこどり

第47期生徒会が発足し、もうすぐ1年が経とうとしています。先日、新執行部の役員選挙も行われました。ほとんどの執行部役員の生徒が、初めて学校という組織の運営に関わりました。成功と失敗を繰り返しながら様々な経験をし、生徒たちがひと回り成長した姿を見ると、感慨深いものがあります。

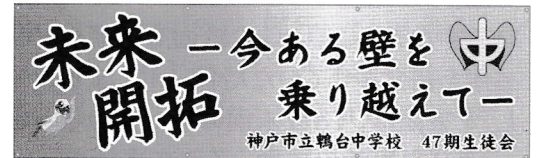
表題にある「ええとこどり」は、毎月発行している生徒会新聞名です。全校生徒か

ら新聞名を募集し、決まったものですが、学校生活（「ひよどり」）の中で全校生徒にとって有益な情報（「ええとこ」）を伝えたいという思いから、この「ひよどり」と「ええとこ」を組み合わせ、「ええとこどり」と名づけられました。

今回、このような場を頂きましたので、地域の皆様方に、鶴台中学校の生徒会活動の「ええとこ」をお届けできれば幸いです。

学校スローガンの決定

「未来開拓—今ある壁を乗り越えて—」



このスローガンには、「誰かが切り開いた道を進むのではなく、自ら行動し自分の未来へ突き進んでいってほしい」という願いが込められています。

義務教育の終わりが近づいてきた3年生は特に、自らの進路に向き合わなければ

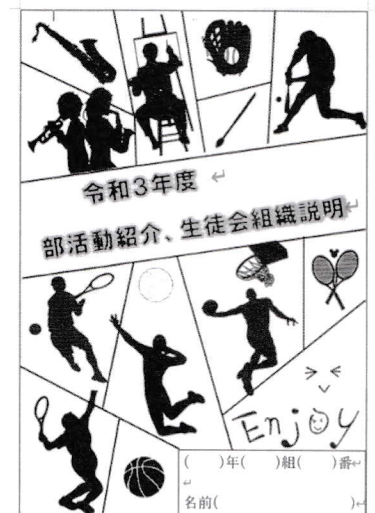
なりません。他の人から与えられるものと、自ら手に入れたもの、どちらの方が自分を成長させるのでしょうか。

少しでも自分の未来について考えて、大きく羽ばたいていってほしいと思います。

生徒会執行部の主な仕事

～こんなことをしています～

- 全校評議会の運営
- 専門委員会の参加
- 全校朝集の司会・進行
- 生徒会新聞名の募集・発行
- いきいき生徒会会議の参加
- ひまSUNプロジェクトの企画・実施
ひまわりの種の配布
- 小学校6年生への学校説明会の実施
- 生徒総会の実施(冊子、パワーポイントの作成)
- 募金活動
- 週番活動・週番反省会への参加
- いじめ防止標語の決定・看板の設置
- 学校スローガンの募集・決定、横断幕のデザイン・設置
- 卒業式、入学式への参加(各1名)



各専門委員会のお仕事

生活委員会では

朝の正門での挨拶運動（週番活動）を行っています。新型コロナウイルス流行以前は、ハイタッチ運動もおこなっていましたが、始業後は、授業挨拶時に「服装を正してください」の号令や移動授業時に、列の最後尾からの呼びかけなど、学校生活の規律に関する取り組みを行っています。

整美委員会では

毎朝の清掃活動（週番活動）を行い、校内の美化に努めています。さらに、清掃道具の点検、火曜日、金曜日の清掃点検、週2回の個人ロッカーチェック、黒板消しクリーナーの清掃など、全校生徒の美化意識向上のために様々な取り組みを行っています。

保健委員会では

ハンカチ・ティッシュ、爪のチェックを行う衛生検査や石鹸・シャボネットの補充を普段から定期的に行っています。さらに、年に1度、文化祭で発表をする学校保健委員会があります。今年度の学校保健委員会では『情報端末との正しい付き合い方』について発表しました。

図書委員会では

図書館の開館や本の貸し出し、本の整理、全校読書会の実施、図書館だよりの発行など、主に図書館の管理にかかわる仕事を行っています。図書委員会は図書館のことのみではなく、生徒や先生の本の出会いを手助けするのも大切な役割です。よりよい図書館にするために日々、問題点を出し合い、改善したり、掲示物を作って華やかにしたりしています。

ひまSUNプロジェクト

「ひまSUNプロジェクト」とは、教室の窓から見える中庭の花壇にひまわりを植えて鶴台中学校を明るくしよう！という活動です。コロナ禍で世の中が暗い雰囲気でしたが、全校生徒のみなさんに少しでも癒しを提供できればと思い取り組みました。ちなみにプロジェクト名

の由来は、「ひまわりが咲いて、太陽のような明るさとともに、笑顔があふれるといいな。」という思いからです。



いかがでしたでしょうか。今回、お伝えしました内容は、紙面の都合上、ごく一部です。

まだまだ世の中が不安定で予断を許さない状況下ですが、鶴台中学校の生徒の多くが目標を持って、生き生きと過ごしております。そんな学校生活の「ええとこ」をお伝えできる日を心待ちにしております。

中学校行事報告

神戸市立鶴台中学校 田村 哲哉

今年度の主な学校行事を報告させていただきます。

①【体育会】感染拡大防止のため分散開催 1年10/13(水) 2年10/12(火) 3年10/15(金) 午後

平日開催にも関わらず、3日間ともたくさんの保護者の方々に来校いただき、本当にありがとうございました。

学年の発達段階に応じた演技を見ていただけたと思います。演技終了後の写真撮影にも、学年の色がそれぞれ出ていました。

②【文化祭】ステージなし、授業・作品・映像見学

10/23(土)のべ240名の保護者の方々の来校をいただきました。ステージ鑑賞はなかったものの、素晴らしい内容の「学校保健委員会」のプレゼン映像と冊子、ポークやダンスで有志の先生方も登場した「吹奏楽部引退公演」の映像は、思い出に残るものになったと思います。

展示に関しても、各教科の作品はもちろん、創芸部や各学年展示は、それぞれ見ごたえある内容のものばかりでした。もっとゆっくり見たかったという人が多数いました。



吹奏楽部引退公演

③【修学旅行】徳島・香川・岡山方面 11/5(金)~6(土)

11月とは思えない好天に恵まれ、激流の吉野川でラフティングができました。歓声を上げながらの急流下りは思い出に残る活動となったようです。琴参閣に宿泊して

迎えた2日目は、785段階を上る金刀比羅宮参拝からスタート。いろいろなジャンルのBGMにノリノリで、うどん打ち体験した中野うどん学校も約1時間であっという間に全員卒業。



吉野川ラフティング

絶景の瀬戸大橋を渡り備前焼体験をして、夕方鶴台中に無事戻ってきました。

コロナ禍で行先は沖縄ではなかったけれど、大半の生徒が保育所・幼稚園時代から9年以上の付き合いになる47回生としての最後の宿泊行事が実施できたことは、最高の思い出になったはずです。同行していただいた添乗員さん・カメラマンをはじめ、バスの運転手さん・受け入れ先の各施設の方々に感謝したい行事でした。

④【トライやる・ウィーク】11/8(月)~12(金)

2年生68名が23か所の事業所に伺って5日間の労働体験するこの行事は2年ぶりに実施できました。天候不順な週で、外での活動は予定通りに進まなかった事業所もあったようです。

体験前には想像できなかった働くことの大変さをそれぞれの生徒が感じられた活動になったはずです。受け入れてくださった事業所の方々本当にありがとうございました。

来年度以降もよろしく願いいたします。

以上が2学期に行われた主な学校行事でした。来年度こそ例年通りの行事ができることを願っています。

ひよどり台支部活動報告

令和3年

- 10.6 青少協第2回支部会議
広報誌 No.54の発行(ひよどり台全戸配布)
- 12.1 クリスマスツリー飾り付け(ひよどり台会館)

令和4年

- 1.8 竹伐り
- 1.10 どんどまつり
早朝より青少協の各団体、PTA、BS等の皆様の協力で準備・実施
- 2.9 第3回ひよどり台支部会議
広報紙No.55の発行(ひよどり台全戸配布)



毎年恒例の「青少年を讃える賞」の受賞者が昨年末に決定しました。

- 夏休みのラジオ体操お手伝い
小中学生4名
- 児童館ボッチャマイスター
小中学生4名
- 善行
高校生1名



が受賞しました。
おめでとうございます。

尚、個人情報の観点から個人名を記入するのは避けさせていただきます。何とぞご理解いただけますよう、よろしく願いいたします。

編集 後記

春の行事をお知らせする号です。12月のお忙しい中でのお願いにもかかわらず、原稿をお寄せいただきました皆さまにはありがとうございました。紙

面をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

(中学校PTA)